

2019年(第30回)福岡アジア文化賞

FUKUOKA PRIZE 2019

受賞者発表

アジアの学術研究や芸術・文化の分野において顕著な業績をあげた方を顕彰する
福岡アジア文化賞の受賞者が決定

～今年で30回目の節目の年を迎えることになりました～

| | |
|---|--|
| <p>大 賞</p>  | <p>ランドルフ・ダビッド (73歳)</p> <p>フィリピン／社会学者</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フィリピン大学において第三世界研究所を創設し、新興独立国が抱える問題や対策の研究を行い、民衆を主役とする社会発展の道を模索した ● アジア研究者として著名な鶴見良行氏と共同研究を行うなど、日本の研究者とも連携協力し、アジア諸国の交流と相互理解のために尽力 ● 社会学者としての知見を、大学教育などを通じて市民に発信 |
| <p>学術研究賞</p>  | <p>レオナルド・ブリュッセイ (72歳)</p> <p>オランダ／歴史学者 (東南アジア史専門家)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広汎な時空間を対象とする「近世東アジア史/東南アジア海域史」を開拓 ● オランダ東インド会社の交易活動をひとつの視点として、オランダ、インドネシア、中国、日本という広がりの中で研究を行う ● ライデン大学において、アジアから学びに来た多くの研究者を育成し、アジアとヨーロッパをつなぐ架け橋として活躍 |
| <p>芸術・文化賞</p>  | <p>佐藤 信(サトウ マコト) (75歳)</p> <p>日本／劇作家、演出家</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1960年代にアングラ演劇を代表する劇作家・演出家として活動を開始 ● その後、現代的感覚と伝統的美意識を融合させた優れた舞台を数多く制作し、岸田國士戯曲賞など数々の賞を受賞 ● 演劇を通してアジアとの交流を行うほか、公共劇場「座・高円寺」(東京都)の芸術監督を務めるなど演劇人の育成にも熱心に取り組んでいる |

9月に授賞式や市民フォーラム、30周年記念シンポジウム等を開催します。
公式行事の詳細は順次お知らせします。

【問い合わせ先】 総務企画局 国際部 アジア連携課 (福岡アジア文化賞委員会事務局)
担当：中野, 山田 Tel : 092-711-4930 Fax : 092-735-4130
福岡アジア文化賞 URL <http://fukuoka-prize.org/>